

空手道 志成館 型勝敗基準

【採点基準】 (1)5点を基準点として、減点法、加点法の併用により5点まで加点することができ、10点満点で競う。
減点、加点の基準は次の通りとする。

動作の正確さ	① 立ち方、突き、蹴り、打ち、受けのそれぞれの技が、正しい目付けの元に正確であること。 ② 中間動作が適切であり、ムダな動きがないこと。 ③ 重心の移動やバランスに優れていること。
技の緩急	① 速く動くべきところが速く動けること。 ② 緩やかに動くべきところが緩やかに動いていること。 ③ 連続動作が用法に即したリズムで動いていること。
力の強弱	① 力の入れるべき所に適当な力が入っていること。 ② 力を抜くべき所で力が抜けていること。 ③ 技の威力が表現できているか。
息の調整	① 息吹や気合いが適切にできているか。 ② 呼吸の乱れがなく動作との調和が図れているか。
表現力	① 戦っているように見えているか ② 気迫が込められているか

(2)上記の各項目について、各1点ずつの配点があり、0.1点単位で減点または加点を行うことができる。

【減点項目】

項目	備考
手技の正確性	正拳／裏拳／手刀等手技の正確性・決め位置・引き手・脇の締め・予備動作(無駄な動き)の有無
足技の正確性	足刀／中足／背足等足技の正確性・軌道・決め位置・蹴り足着地時のコントロール(音を立てない)
立ち方／安定性	前屈／後屈／騎馬等立ち方の正確性・足先の角度・正確な方向・安定性、バランスの崩れ(上体の反り・前傾・重心の位置)

【予選】 指定された予選型を選手が一人ずつ単独で型を行う。

【採点基準】、【減点項目】に基づき採点し、上位4名が準決勝に進出する。

同点の場合は、次の順に従い順位を決する。

- ①最低点が高い方が順位が上となる。
- ②最高点が高い方が順位が上となる。
- ③主審の得点が高い方が順位が上となる。
- ④2人同時に演武を行い、赤白判定で決する。(予選型で行う)

【準決勝】 指定された準決勝型又は決勝型を選手が一人ずつ単独で行う。

及び【決勝】 採点基準】、【減点項目】により、審判の赤白旗判定により勝者を決定する。引き分けは無い。

【その他の減点】 【減点項目】の他に次の項目で減点または失格とすることがある。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> ①演武開始時選手が言う型名と実際の演武型が異なる場合(失格) ②試合上から両足が出ってしまった場合(失格) ③試合場から片足が出ってしまった場合(減点)(線を踏む0.2減、足が出る0.5減) ④型の演武を中断した場合は失格。静止状態の極め動作で2秒以上(それ以外の所で1秒以上)経過した場合、技の順番を見失ったとみなし、1.0以下の減点 ⑤型の動作をとばしてしまった場合(2.0以下の減点または失格) ⑥その他主審が判断し、合議の上判断する。 |
|--|